

海外便り

エチオピア通信 (8)

中山 実

1. はじめに

泉憲二郎新大使が10月30日に到着され、日本からエチオピアという長旅にも関わらず、すぐに11月2日の第11回エチオピア日本人会大運動会に出席されておられました。

運動会は、総勢100名程度の参加で行われました。100名程度といいましても、エチオピア在住の日本人の殆どです。数少ない日本人会の行事と言う事で、小学生に負けじとハッスルする大人が多かったように思われます。やはり運動会といえば、紅白対抗リレーが一番の目玉ですが、年を忘れて(?)激走された方が多く、レース後、酸欠状態になられた方等が数人発生し、対抗リレーへの熱き思いが伝わってきました。対抗リレーは何歳になっても燃えるものであり、楽しいものようです。お子さんのおられる方は、親としてのプライドをかけて走っておられたように思います。

また、11月15日から11月24日まで“Japan Week”が開催されました。日本の文化を紹介し、日本を理解してもらい、日本とエチオピアの交流がより一層深まる事を目的として行われました。凧、こまの展示から始まり、日本



写真-1 Japan Week の飾付け

映画の上映等が連日、数箇所で開催されました。

オープニングの様子は、エチオピアテレビにおいても放映されました。また、凧は展示するだけにとどまらず、エチオピア人への凧上げの実演指導も行われました。私もその凧上げ大会に参加したのですが、私自身、凧上げを行うのが小学生以来という事で、うまくあげる事が出来るか心配でしたが、何とかあげる事ができました(良かった!良かった!)

2. OJT 訓練における苦情処理!

センターには、建設機械操作、建設機械整備、道路保守のインストラクターに限らず、ありとあらゆる職種の方が働いています。メッセージだけを伝える「メッセンジャー」、書類等のタイプのみを行う「タイピスト」など、日本では考えられない職種が存在します。今回は、その数ある職種の内の「庭師さん」について書かせて頂きます。

先月号に書かせていただきましたが、現在、センターの未舗装部分の舗装工事をOJT訓練として、行っています。モーターグレーダーで、舗装工事予定個所の除根作業を行っていた時ですが、工事を監督していたインストラクターが、あるセンター職員に凄い勢いで何かを言われていました。凄い勢いが、本当に凄い勢いで、少し気になったので、インストラクターに「彼は何を言っているのか?」と聞いた所、こんな回答が帰ってきました。



写真-2 仮設道路建設中

「彼はセンターの庭師なのですが、毎日雑草抜きをしてセンター内を手入れしているのに、こんな機械(モーターグレーダー)で一発で、根こそぎ持っていかれるなんて、なぜなのだ。加えて、彼が育てているあの植物が心配でならないらしいのだ」と言うのです。

その植物の方向を見てみると、彼が心配でならないのも理解できるほど、ギリギリのラインをモーターグレーダー

は、作業をしていました。

凄い勢いで話している彼が庭師なのは以前から知っていました。彼は、毎日、センター内の草木の手入れを一生懸命しています。庭師の彼とは、プロジェクトでは、直接関わる事はないのですが、彼は、草木の葉っぱに水をかけて水撒きしていたので、「エチオピアの日差しがきついで、そのやり方では、葉が枯れてしまう可能性があるから、根元に水を撒いた方が良い」と言って実技指導も加えて、草木に対する水の撒き方の技術移転を行った事があります。

話を戻しますが、どの辺まで舗装するのか等々、インストラクターと詳細な打ち合わせをしてきたつもりだったのですが、どうもモーターグレーダーによる雑草の持っていかれ方が、想像以上だったので、心配になったのだそうです。

それからというものは、「危険だから。大丈夫だから」といくら言っても、自分の植物が心配らしく、モーターグレーダーの回りを自前の鎌を持ってうろちょろします。どうも、頭の中が、植物の事でいっぱいのように、言っても聞かないので、仕方が無いので、庭師さんにヘルメットを渡しました。そして、カウンターパート・運転手に、彼の動きに気をつけるように指示しながらの工事が再開しました。

工事中でも、カウンターパート達に、諭され、怒られながらもうろちょろしていました。これが、本舗装工事始まったの苦情処理第1号です。と言いましても、センター内の舗装工事ですので、後にも先にも彼だけが苦情処理になると思います。ただ、庭師さんとの調整（工事着手前の説明）を怠っていた訳ではありませんが、庭師さんに工事の説明を行っていなかったのは事実でした。

もちろん、その後、カウンターパートには、きちんと工事着手前の説明の必要性、苦情処理の対応と同時に自然との共生を教えておきました。

また、ふと、センター内を見渡した時に発見したのですが、何の目的でそうしているのかわかりませんが、現在、センターの内のあちこちの木が、キノコ形や椅子形等々に創作されていました。それら全て庭師さんの作品でして、その中でも一際異彩を放っていると私によって判断された作品をこの場を借りて紹介させていただきます。喜びに満ちた庭師さん（with ヘルメット）と共に記念撮影してみました。



写真—3 庭師と「ミッキーマウス」

ちなみに、作品名について、庭師さんの溢れる才能そして夢、希望を表していると判断し、「ミッキーマウス」と命名しました。が、彼は、英語も話せませんし、ミッキーマウスが何なのか知りません。けれども、大変喜んでいました。

次回は、OJT訓練の進捗を報告させていただくつもりです。

——なかやま みのる JICA 派遣専門家、国土交通省近畿地方整備局——

建設機械用語集

- ・建設機械関係業務者一人一冊必携の辞典。
- ・建設機械関係基本用語約 2000 語（和・英）を収録。
- ・建設機械の設計・製造・運転・整備・工事・営業等業務担当者用辞書として好適。

B5判 200頁 定価 2,100 円（消費税込）：送料 600 円
 会員 1,890 円（消費税込）：送料 600 円

社団法人 日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8（機械振興会館） Tel. 03(3433)1501 Fax. 03(3432)0289